2026 年 11 月 6 日

報道関係者各位
プレスリリース

株式会社ヴィッツ
（証券コード：4440）

次世代ソフトウェア開発基盤 SDx プラットフォームの構築に参画
車載ソフトウェアや組込み制御技術を活かし、幅広い産業への展開を目指す～

株式会社ヴィッツ（本社：名古屋市中区、代表取締役：服部 博行、以下「当社」）は、一般社団法人 組込みシステム技術協会（JASA）が設立した「SDx プラットフォーム委員会」に参画し、次世代のソフトウェア開発基盤の構築に取り組みます。

本委員会には、自動車メーカー3 社を含む 10 社が参画しています（2026 年 11 月 1 日時点）。各社が技術や知見を持ち寄り、ソフトウェア開発の共通アーキテクチャ（基本設計）の確立と実証に、業界横断で取り組みます。当社は、車載ソフトウェアや組込み制御の開発で培った技術を活かし、企業の垣根を越えた開発基盤づくりに貢献します。

【取り組みの背景】

ソフトウェアが製品の機能や価値を決める「SDx（Software Defined Everything）」への変革が進んでいます。その代表例が、ソフトウェアの更新によって販売後も車の機能や性能を高められる「SDV（Software Defined Vehicle）」です。SDV の実現には、車両全体のソフトウェアを統合的に開発するための共通基盤が重要になります。

本委員会は、2027 年末までは SDV に重点を置き、参画企業による実証プロジェクトを通じて、共通アーキテクチャの確立と企業間連携の課題解決に取り組みます。2027 年 1 月からは技術領域ごとのワーキンググループを設け、新規メンバーの募集を開始する計画です。2028 年以降は、SDV で得た知見を土台に、ロボットやスマートシティなど、自動車以外の SDx 分野への展開を目指しています。

【当社の役割と今後の展望】

当社は、自動車や産業機械の制御を支える組込みソフトウェアや車載システムに加え、RTOS（機器の処理を決められた時間内に実行するための基本ソフトウェア）、MBD（モデルベース開発：コンピュータ上のモデルを使って開発・検証する手法）、安全性の検証などの技術を蓄積してきました。これらの強みを活かし、SDV 向けの共通基盤の検討・実証に貢献するとともに、幅広い SDx 分野への展開を見据えた技術基盤づくりを支援します。

今回の参画を通じて、自動車メーカーや部品メーカー、ソフトウェア企業との技術連携を深め、当社技術の活用領域を広げることで、中長期的な事業機会の創出につなげてまいります。

なお、本取り組みに伴う具体的な事業成果や業績への影響については、現時点で確定したものではありません。

【関連情報】

JASA 発表（2026 年 11 月 5 日）：
「SDx プラットフォーム委員会」が始動
URL：https://www.jasa.or.jp/lists/pressrelease20261105/
活動計画の詳細は、2026 年 11 月 19 日（木）にパシフィコ横浜で開催される「SDx カンファレンス」（EdgeTech+ 2026 内）で発表される予定です。

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社ヴィッツ
IR 担当窓口：佐藤・服部（孝） TEL: (052)-950-5868 Mail: ir-kanri@witz-inc.co.jp